

# 日台交流日録 (14)

〔平成18年8月3日～10月30日〕

これからの日本と台湾が見えてくる

8・3 宿泊日数で日本人が最多

台湾国際放送によると、今年一―五月に訪台した外国人旅行者のうち、宿泊日数で最多は日本人客の二百二十四万六千泊。

8・3 編纂進む総督府文書目録

国史館台湾文獻館は中京大学社会科学研究所と「台湾総督府文書目録」の編纂に関する五期目の協力計画書に調印。同目録はすでに二十巻以上が完成している。

8・3 本場の新竹ビーフンをPR

新竹市から林政則市長ら親善訪問団が岡山市を訪問。「新竹ビーフン」を騙る中国産が出回る中、新竹本場の物産をPR。

8・4 さんさ祭り台湾観光宣伝

盛岡さんさ祭りのパレードで、台湾観光協会民族舞踊団が参加。獅子舞などの演舞で台湾観光をPRした。

8・6～8 仙台七夕まつりで日台友好

仙台七夕まつりで、「日台友好歴史写真展」や台湾の獅子舞や跳鼓陣などの演舞が。

8・8 橋本元首相葬儀に総統特使

故橋本龍太郎元首相の葬儀に、陳水扁総統の特使として游錫堃・民進党主席が参列。

8・8 武徳殿で剣道の演武

高雄市と同市剣道文化促進会が最近修復された日本時代の武徳殿で、剣道演武や和太鼓、尺八の演奏などを披露する「武徳祭」をスタート。

8・9 靖国参拝に他国は口出しするな

游錫堃・民進党主席は都内で、「日本の首相が靖国神社を参拝すべきか否かは日本人が決めるべき。他国に口出しの権利なし」と。

8・12 オペラと狂言の日台競演

宗像市で台湾の声楽家、曾道雄氏作曲のオペラ「案山子と盗人」と、同作品誕生のきっかけとなった狂言「瓜盗人」が同時上演。

8・15 「台湾の島影が見えた」と報道

高気圧の影響で、与那国島から台湾のダイナミックな島影がはっきり見えたこと、八重山毎日新聞が写真入りで報道。

8・15 台湾総督に台湾独立計画か

自由時報は、台湾で終戦の詔書が一日遅れで公表されたことを指摘し、安藤利吉総督が敗戦の混乱が起こる以前に台湾を独立させよ

うと企図した可能性があると分析した。

8・15 日本時代評価の教員の声

自由時報は高校で初導入の台湾史教科書に関する報道で、日本時代の近代化建設を詳述していることを評価する教員の声も紹介。

8・15～17 宮腰副大臣が異例の勇断

宮腰光寛・農水副大臣が台湾を訪問、陳水扁総統や蘇貞昌行政院長と会見した。中国の非難を恐れない異例の勇断だ。

8・17 人気の高さに本人驚く

主演映画「夢遊ハワイ」のPRで来日した俳優の楊祐寧さんが都内で約百人のファンと交流。日本での人気の高さに驚いた様子。

8・22 青森、秋田が共同で観光誘致

青森、秋田両県が台湾へ訪問団を派遣。共同で観光客誘致を行う。

8・24 医療事情で意見交換

台湾医師会の呉南河会長ら役員が、日本医師会を表敬訪問。医療事情などで意見交換。

8・24 陸軍総司令官が陸自演習視察

胡鎮埔・陸軍総司令官が陸上自衛隊の富士総合火力演習を視察。中国が神経を尖らせる中、同司令官の訪日の実現自体が画期的。

8・25 徳島県の食材フェア

徳島県の農林水産物輸出促進協議会が台北

市内で、県産食材の販促フェア。

8・25 「日本一短い手紙」が発売

福井県坂井市の日本一短い手紙コンクールの入賞作品が翻訳され、台湾で発売。

8・25 証券取引所間で協力協定

東京証券取引所と台湾証券取引所は、市場間連携プロジェクトでの協力協定を結んだ。

8・27 旅行代理店引き観光紹介ツアー

山形、福島、新潟の三県が作る観光連携推進協議会が、台湾の主要旅行代理店を招いて観光施設紹介ツアーを実施。

9・3 アイスクリームの輸出増加

中日新聞によると、台湾における日系コンビニ店の増加で、横浜港ではアイスクリームの輸出が増加している。

9・4 日本式家屋のレストランが人気

中華テレビによると、嘉義市では日本式家屋を改装したレトロ食堂が観光スポットに。

古建築の好きな女子大生が開業したのも。

9・6 親王殿下ご生誕への関心

台湾メディアは秋篠宮家の親王ご生誕を競って詳報。同国での関心の高さを示した。

9・6～8 国交省が修学旅行促進

国交省は台湾からの修学旅行促進を目的に、校長や教員など約百人を視察に招待。

9・8 監獄を博物館にしたい嘉義市

嘉義市は日本時代の監獄建築を博物館として利用する計画。黄敏恵市長は呂秀蓮副総統に対し、政府補助金交付での支援を要請。

9・8 人気アイドルのイベントに五千人が都内で。五千人のファンを魅了した。

9・9 陳総統「日台準軍事同盟を」

陳水扁総統はフジテレビの報道番組で、日台準軍事同盟の締結に期待を表明した。

9・9～10 盛んになった台湾研究

亜東関係協会が台北で日台学術交流国際会議。同協会によると、日本の各大学ではここ十数年来、台湾研究が盛んになっている。

9・12 新竹市の史跡に日本時代の役所

新竹市が見学キャンペーンを開始した市内の「八大史跡」には清国時代の建築の他、日本時代の新竹州庁と新竹市役所の建物が。

9・13 海洋深層水施設を視察

海洋深層水を産業振興に生かすため、経済部の訪問団が富山県内の関連施設を視察。

9・14 天皇ご命名の新港鮎

中央社によると、経済部主催の全国特産食品コンクールで一位の嘉義県の新港鮎は、日本時代に天皇がご命名したのと言う。

9・15～17 すべて日本時代の建築

国立文化資産保存研究センター準備処が開放した指定史跡六ヶ所、台北市専売局、監察院、台南測候所など、全てが日本時代の建築だ。

9・16 日本時代の絵葉書が話題に

台湾の昔日を振り返る写真展が台北県立図書館で。注目は国家図書館所蔵の日本時代の絵葉書四千枚から精選された八十八枚。

9・14 嘉義市が郡役所建築保存の意向

嘉義市で日本時代の郡役所建築の保存問題で公聴会。市は史跡指定を申請する意向。

9・16 佐賀の県産品フェア

佐賀県が台北市内で県産品フェア。佐賀のりや嬉野茶等四十品目の販路開拓を目指す。

9・16 都内で雪花水の店オープン

都内に台湾スイーツを販売する「雪花の郷」がオープン。目玉商品は雪花水。

9・16～17 埼玉産梨のキャンペーン販売

埼玉県は台北市内で騎西町産の梨「豊水」のキャンペーン販売を実施。

9・17 中国の覇権阻止で日本にエール

李登輝前総統は都内のシンポジウムでのビデオ講演で、中国の擡頭と覇権拡張を阻止するため、日本が率先して自由主義国の連携を強化すべきだとエールを送った。

9・19 温泉旅館が台北に事務所

山陰中央新報によると、昨年から台湾の宿泊客が急増している鳥取県三朝温泉の旅館「万翠楼」が、台北に事務所を開設した。

8・19・20 大相撲の台湾巡業

台北ドームで戦後初の大相撲巡業。二日間にわたるトーナメント戦は満席で、約一万人の観客で賑わった。

9・22 十五歳の怪物右腕が巨人入り

巨人は台湾の十五歳の怪物右腕、林羿豪投手と育成選手契約を結んだことを発表した。

9・23 ブヌン族の合唱に拍手万雷

ブヌン族の合唱団「Lilieh之声」が都内の合唱コンクール「コーラスの響き」にゲスト出演。三十分にあたって六曲を披露し、万雷の拍手が。

9・25 「水文化の証人」を紹介

テレビ局民視は基隆市の暖暖溪に残るレンガ造りの日本軍給水設備を「日本時代の風

華」 「昔の水文化の証人」と紹介。

9・25 中川昭一政調会長に期待

中川昭一氏の自民党政調会長就任を受けて、東森テレビが「極めて台湾に友好的な人物。台湾にとって力になる」と報道。

9・26 留学派遣で日本語学部の振興期待

高雄県の義守大学が、応用日本語学部の学生二名を愛媛大学に留学派遣。これによる同学部の振興が期待されている。

9・26 陳總統が安倍首相に祝意

陳水扁總統が安倍晋三首相に就任祝いの書簡を送り、同首相の「美しい国、日本」の展望が国民に受け入れられたと讃えた。

9・26 台湾の広告作品を紹介

都内で台湾の優れた広告作品を紹介する「台湾広告展」。日台の広告界交流は盛んだ。

9・27 安倍首相の就任はプラス

羅福全・亜東関係協会長は、安倍首相の就任は日台関係をさらに緊密なものにするとの見方を示した。

9・27 陳總統が小泉前首相に招待状

陳水扁總統は小泉純一郎前首相に対し、台湾高速鉄道の開通式への招待状を送付。「貴国の多大な協力に謝意を表すため」とある。

9・28 日本時代の映画の修復なる

台湾歴史博物館準備処は三年前発見の日本時代のニュース、記録、劇映画など百六十八本の修復作業を終え、ネット公開を開始した。当時に伝える貴重な資料と注目される。

10・1 高雄一名古屋が増便

中華航空は高雄一名古屋便を週二便から四便に。同便利用客の約九割は台湾人。

10・2 島田洋七さんの新著発表会

台北で島田洋七さんの新作「笑顔で生きんしゃい！」の発表会。台湾では前作「佐賀のかばいばあちゃん」が二十五万部のベストセラー。映画も大ヒットしている。

10・3 活発な港湾都市交流

横浜市の伊波洋之助議長が葉菊蘭・高雄市長を訪問。港湾都市同士の交流は活発だ。

10・3 日本の博覧会展が台北で

台北市立美術館で日本の博覧会の資料やポスターの特別展。注目は戦前の台湾で八回開かれた博覧会の関連資料。

10・6 吊橋の「七十歳」イベント

新店市の名勝碧潭に架かる日本時代の吊橋の「誕生七十周年」イベント。かつて撤去が決まったが、住民の反対で保存された経緯が

ある。

10・8 台湾外交の重要課題

黄志芳・外交部長は、安倍首相の就任後の重要課題は、いかに良好な基礎の上で対日関係を進化させていくかだと指摘した。

10・8 対中妥協で台湾を犠牲にするな

玉沢徳一郎・元防衛庁長官は台北市内での講演で、「日米は中国に妥協して台湾を犠牲にすることはできない」との警鐘を。

10・10 岩手県特集番組のため取材

台湾の三立テレビが岩手県の特集番組のため、盛岡市神子田の朝市などを取材。

10・11 李遠哲氏が東大で講演

ノーベル賞学者の李遠哲・中央研究院院長が東京大学で講演。日台協力による太陽、風力など新しいエネルギーの開発を訴えた。

10・12 伸びる九州、山口向け輸出

読売新聞によると、台湾の対日輸出低迷の中、九州、山口向けは二年連続四・五割増。

10・13～15 台北で好評の五つ太鼓

薩摩川内市の新星会五つ太鼓が台北で公演。七月の初演が好評でファンに招かれた。

10・19 ロイヤルホテルに十九万人

東森テレビによると、昨年日本を訪れた台

湾人観光客百二十七万人の内、十九万人もが大和ロイヤルホテルグループを利用。同グループが台湾市場を重視している結果と言う。

10・19 生まれ変わる戦前のデパート

台南市は老朽化が進む日本時代の林百貨店の五階建てビルの保存を決定。伝統工芸博物館として再利用する意向。かつて同百貨店は市内のランドマークだった。

10・21 皇室の「御用達」を強調

テレビ局TVBSは、台北市内の日本料理店の金箔緑茶を紹介。「台湾の民衆も日本皇室の御用達のお茶が飲める」と盛んに強調。

10・21 友好都市に「見習い」派遣

東森テレビによると、岡山市は友好都市の新竹市に職員を「見習い」として派遣中。

10・24 日本式寺院の九十周年記念

完全な日本式建築ゆえに史跡に指定されている花蓮県吉安郷の慶修寺で、創建九十周年を記念する無憂樹植樹のイベントが。

10・25 日台高校生の対面式

川崎市の向の岡工高では、高雄県の岡山農工高の修学旅行団の交流訪問を受け、全生徒による対面式が行われた。

10・26 花蓮一石垣間でチャーター便

花蓮市から石垣市へ初のチャーター便。蔡啓塔・花蓮市長ら訪問団も来日。石垣市は週三便の定期チャーター便を目指している。

10・27 美空ひばりファンが動く

産経新聞によると、台湾では十一月末に閉館する京都の美空ひばり館の部分誘致計画が同国のファンたちによって進められている。

10・27 国境交流特区で島の自立目指す

与那国町が花蓮市との交流で島の自立を図るため、国境交流特区の実現を目指す日台共同フォーラムを開催。双方の距離はわずか一〇キロ。

10・28 九月の日本人客は八十四万人

行政院主計処の発表によると、今年一―九月に訪台した観光客二百五十七・六万人の内、日本人客は八十四・四万人でトップ。

10・28 游主席が日本から帰国

民進党の游錫堃主席が訪日を終えて帰国。滞在中に接触した国会議員は八十人以上。

10・30 日本版台湾関係法を呼びかけ

陳水扁総統は中川昭一・自民政調会長とのテレビ会談で、日本版台湾関係法の制定による地域の平和と安定への寄与を呼びかけた。

【永山英樹】